

教育指導担当

コロナ禍の子どもたちの生活に関する実態調査の結果について

新型コロナウイルス感染症が、子どもたちに与えた影響を把握し、今後の幼児・児童・生徒の学びを保障する対応策について検討することを目的として、長らく続いた国の緊急事態宣言の解除後に、コロナ禍の子どもたちの生活に関する実態調査を実施しました。

1 調査概要

(1) 調査対象

ア 区立幼稚園に幼児が在籍している保護者	1,000人
イ 区立小学校に児童が在籍している保護者	10,061人
ウ 区立中学校に生徒が在籍している保護者	2,185人

(2) 調査方法

Web アンケートを配信メールで送付

(3) 調査期間

令和3年10月15日（金）～25日（月）

(4) 調査内容

- ア 運動や遊び、食生活等の子どもの生活の変化に関すること
- イ メンタルケアの必要性等の子どもの心の変化に関すること
- ウ タブレット端末の導入等の子どもの学びの変化に関すること
- エ コロナ禍で子どもを家庭で支える保護者に関すること

(5) 総質問数

20問

(6) 有効回答数

全体 5,207件 回答率39.3%

※幼稚園368件、小学校4,096件、中学校743件

2 調査結果

別紙のとおり

本調査結果の計数については、原則として表示単位未満を四捨五入し、端数調整をしていないため、合計等と一致しない場合があります。

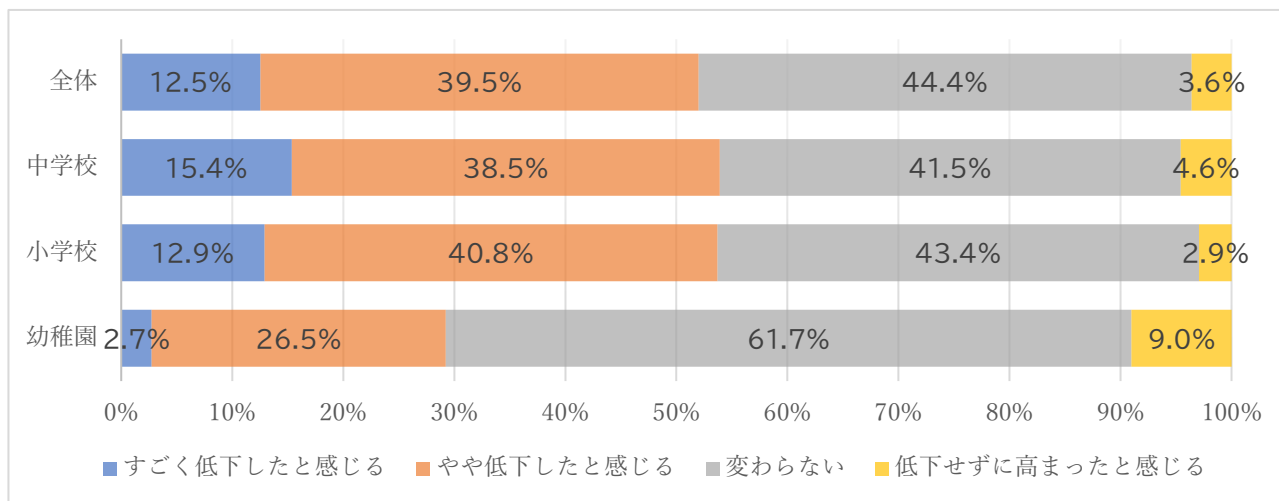
コロナ禍の子どもたちの生活に関する実態調査の結果

(1) 子どもの体力に関すること

〔質問項目 1-1〕

感染症が拡大する前に比べて、お子さまの体力が低下したと感じることはありますか。

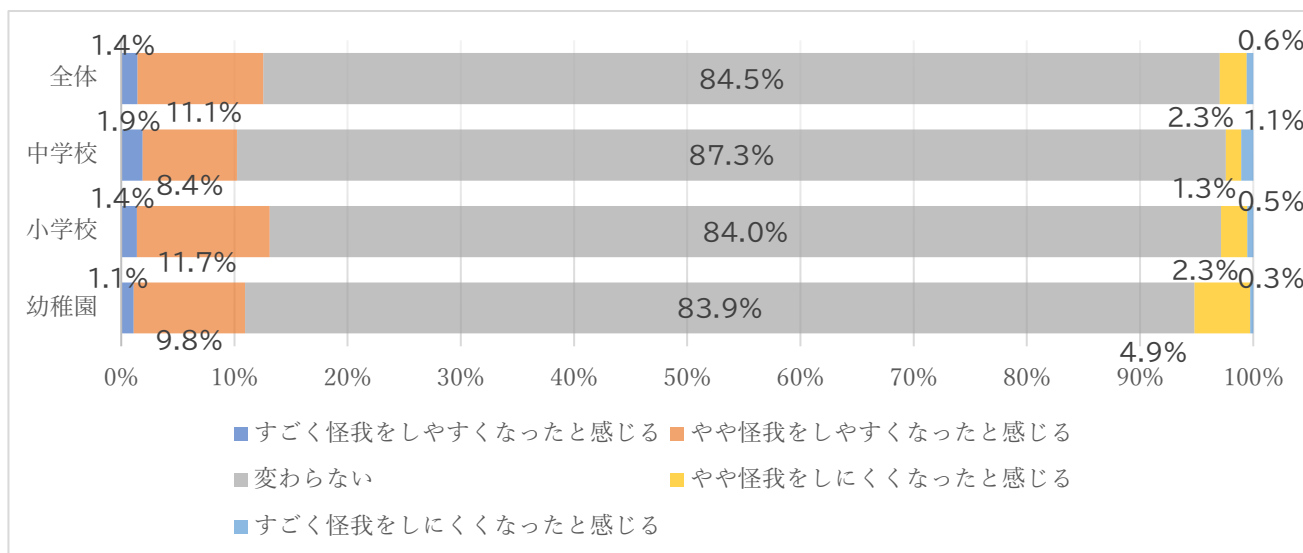
〔結果〕



〔質問項目 1-2〕

感染症が拡大する前に比べて、お子さまが怪我をしやすくなったと感じることはありますか。

〔結果〕



【考察】

体力が低下したと回答した割合は、52%であった。主に小中学校の保護者が体力を低下したと回答している。

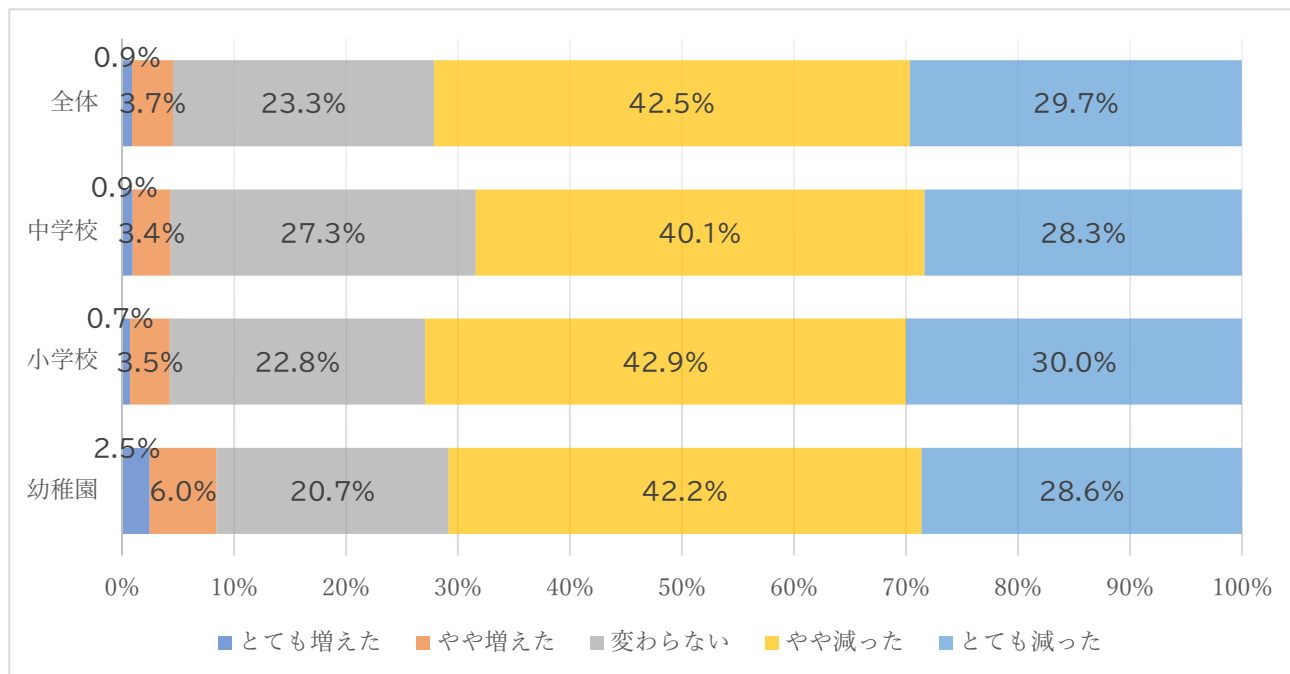
怪我をしやすくなったと回答した割合は、12.5%であった。体力が低下したとは感じているものの、怪我をしやすくなったとまでは感じていないことがわかる。

(2) 人とのかかわりや生活に関すること

〔質問項目 2-1〕

感染症が拡大する前に比べて、お子さまが友達とかかわる時間はどのように変化しましたか。

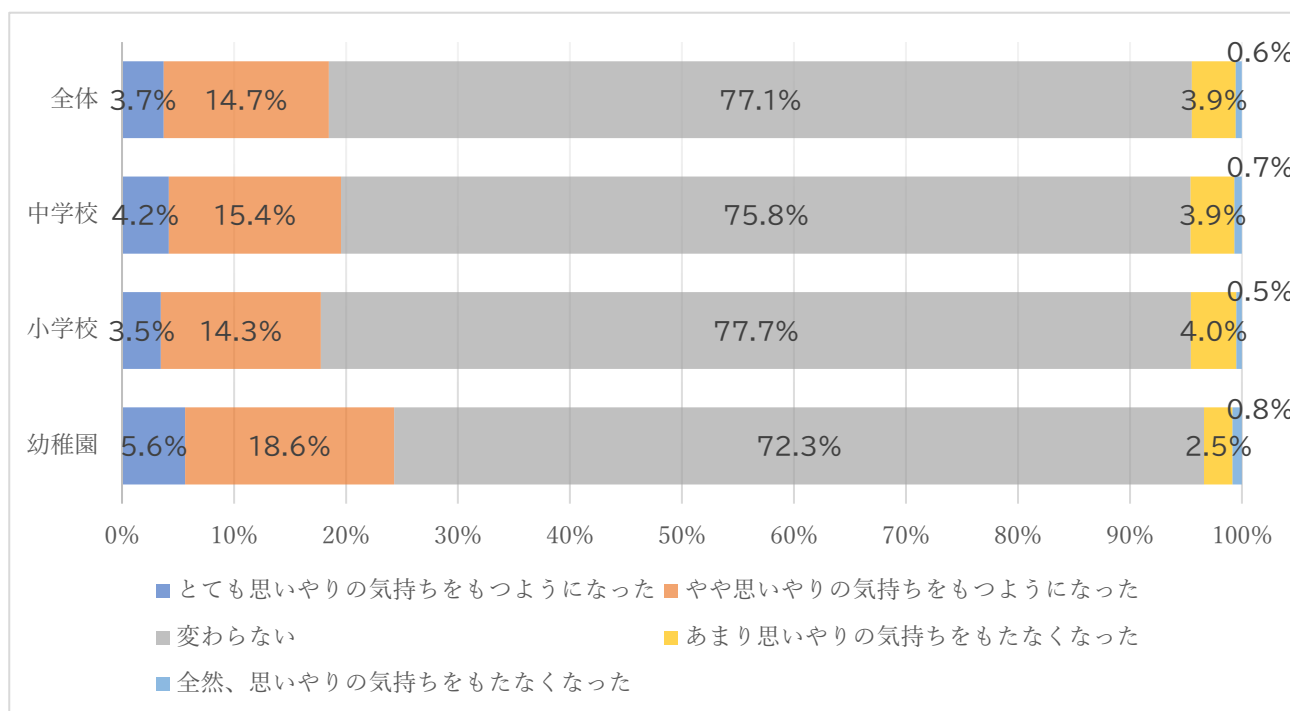
〔結 果〕



〔質問項目 2-2〕

感染症が拡大する前に比べて、お子さまは、人に対して思いやりの気持ちをもつようになったと思いますか。

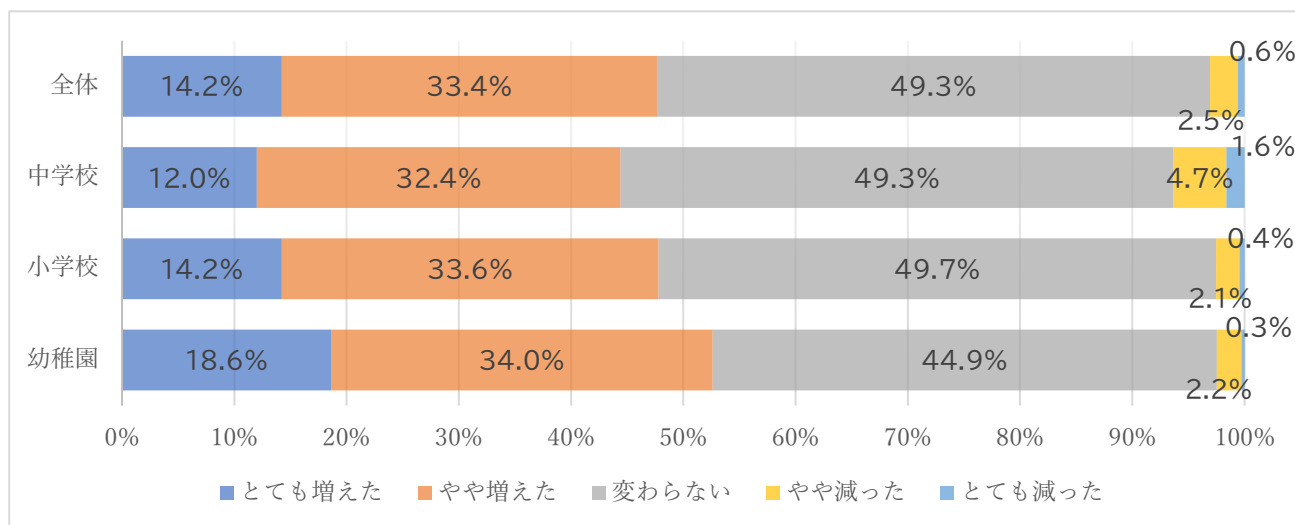
〔結 果〕



〔質問項目 2-3〕

感染症が拡大する前にくらべて、家族の会話の時間に変化はありましたか。

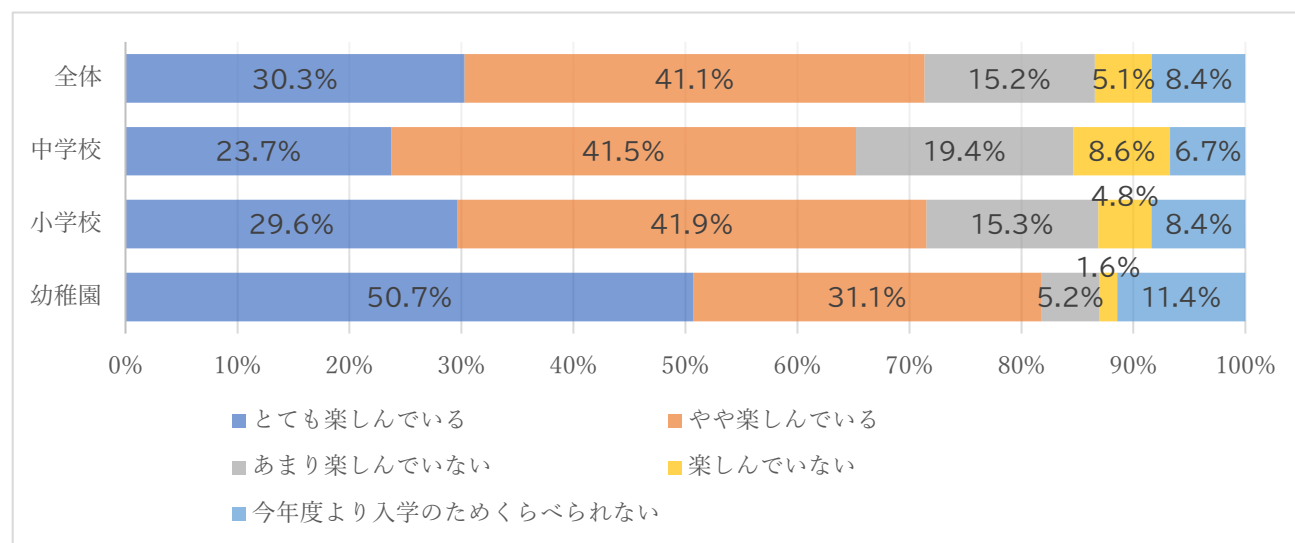
〔結 果〕



〔質問項目 2-4〕

感染症が拡大する前にくらべて、現在、お子さまは学校生活を楽しんでいますか。

〔結 果〕



【考察】

友達とのかかわる時間が減ったと回答した割合は、72.2%であった。感染症が拡大する前にくらべると大幅に友達とのかかわりが減ったことがわかる。

次に、人に対して思いやりの気持ちをもつようになったかを問う質問では、77.1%が変わらないと回答しており、友達とのかかわりは減ったが思いやりの気持ちに変化はあまりないことがわかる。

また、家族の会話が増えたと回答した割合は、47.6%であった。感染症拡大前にくらべると家族の会話の時間が増えたと感じていることがわかる。

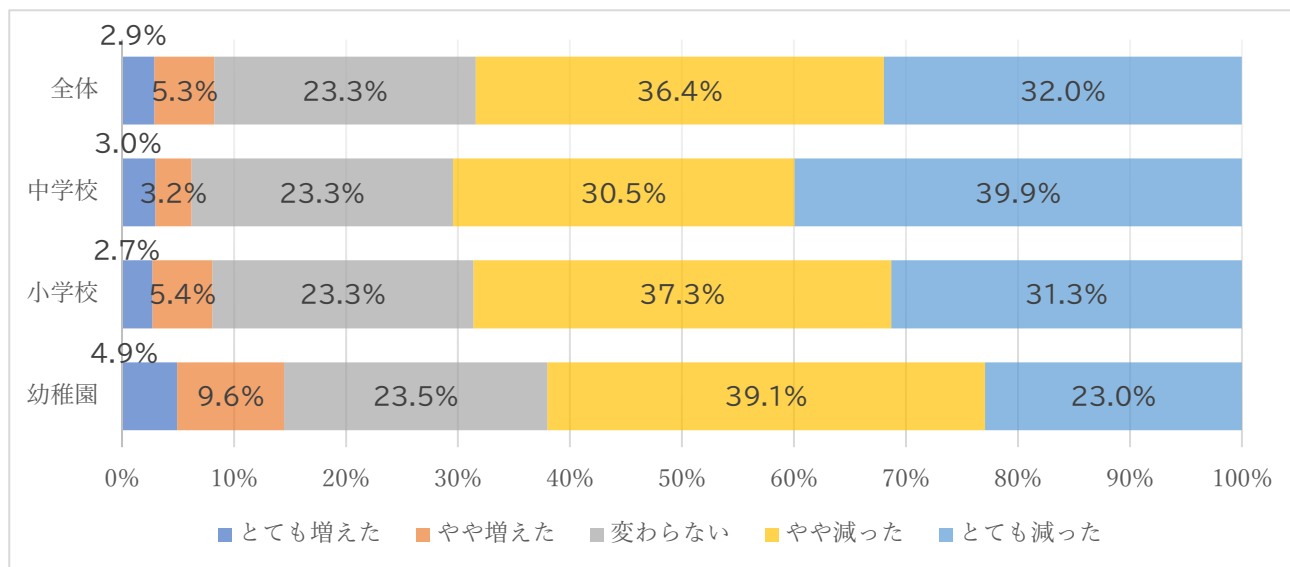
さらに、学校生活を楽しいと回答した割合は、71.4%であった。中学校になるにつれて学校生活を楽しいと回答した生徒は少なくなっていることがわかる。

(3) 遊びに関すること

〔質問項目 3-1〕

感染症が拡大する前にくらべて、お子さまが家の外で遊ぶ時間はどのように変化しましたか。

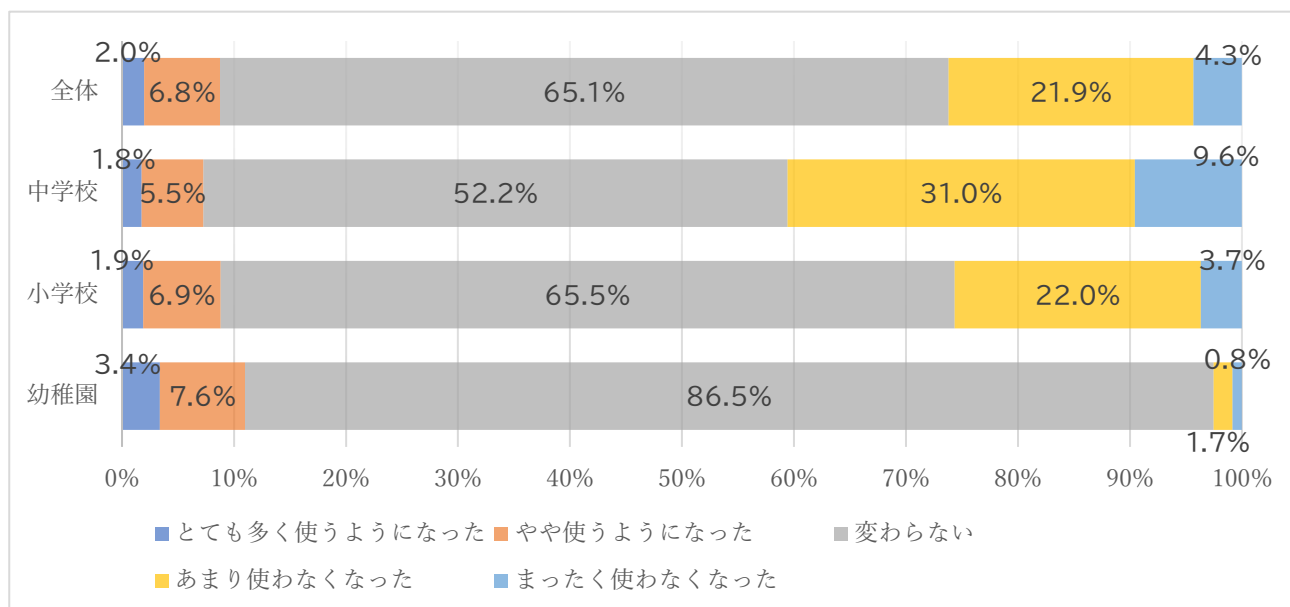
〔結果〕



〔質問項目 3-2〕

感染症が拡大する前にくらべて、お子さまのお金の使い方に変化が見られるようになりましたか。

〔結果〕



【考察】

家の外で遊ぶ時間が減ったと回答した割合は、68.4%であった。中学生になるにつれて、家の外で遊ばなくなったと回答していることがわかる。

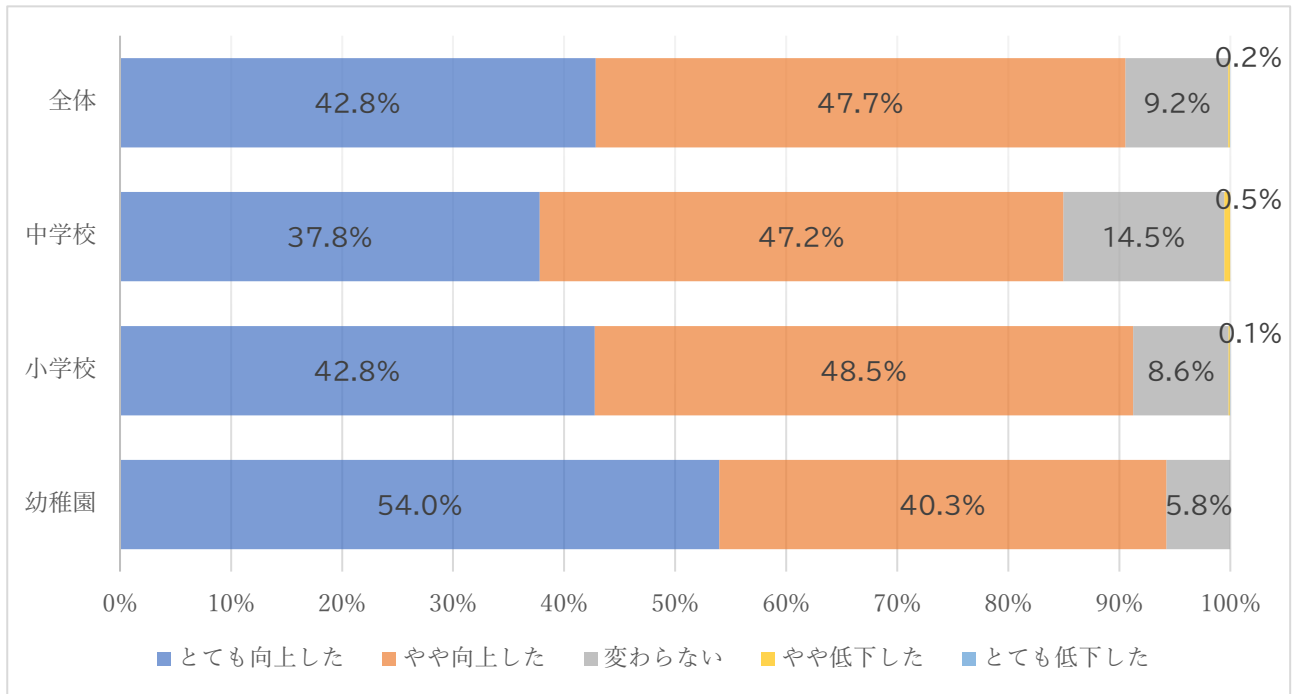
また、お金を使わなくなったと回答している割合は、中学生で40.6%、小学生で25.7%であった。中学生ほどお金を使う機会も減少していることがわかる。

(4) 保健衛生に関すること

〔質問項目 4-1〕

感染症が拡大する前にくらべて、衛生面に対するお子さまの意識が向上したと思いますか。

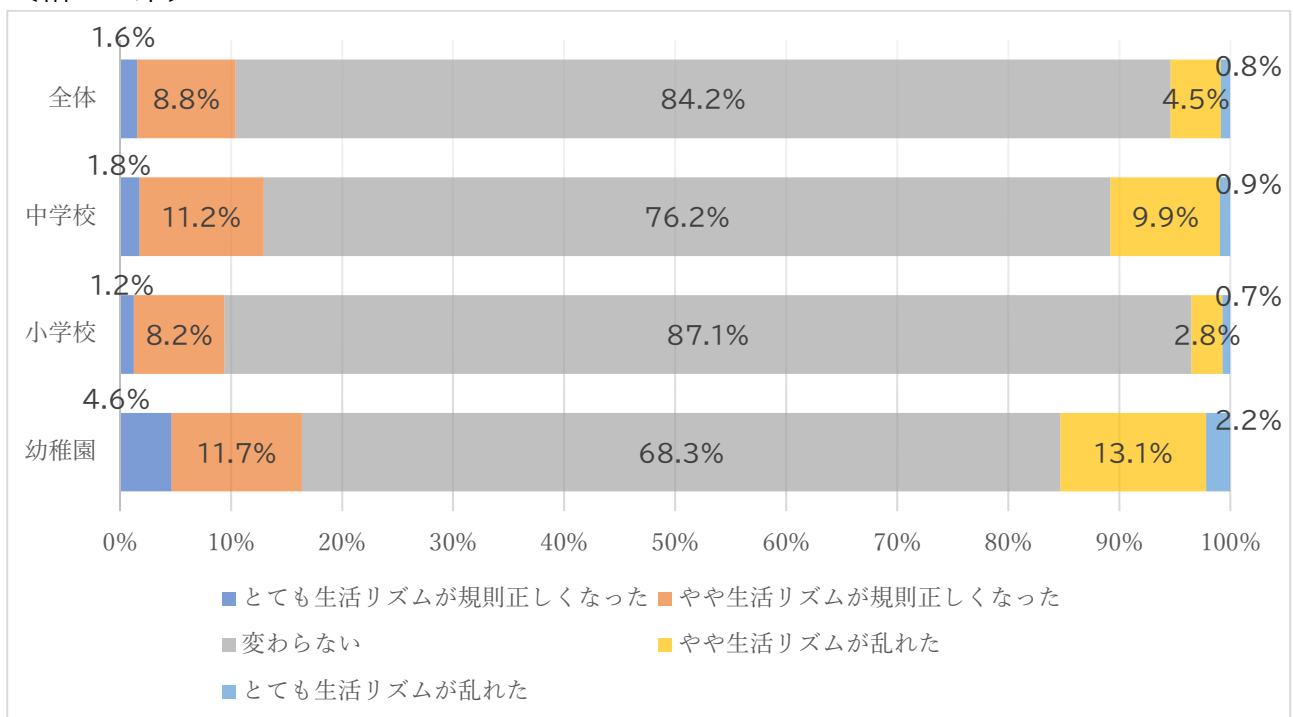
〔結 果〕



〔質問項目 4-2〕

感染症が拡大する前にくらべて、お子さまの生活リズムに変化がありましたか。

〔結 果〕

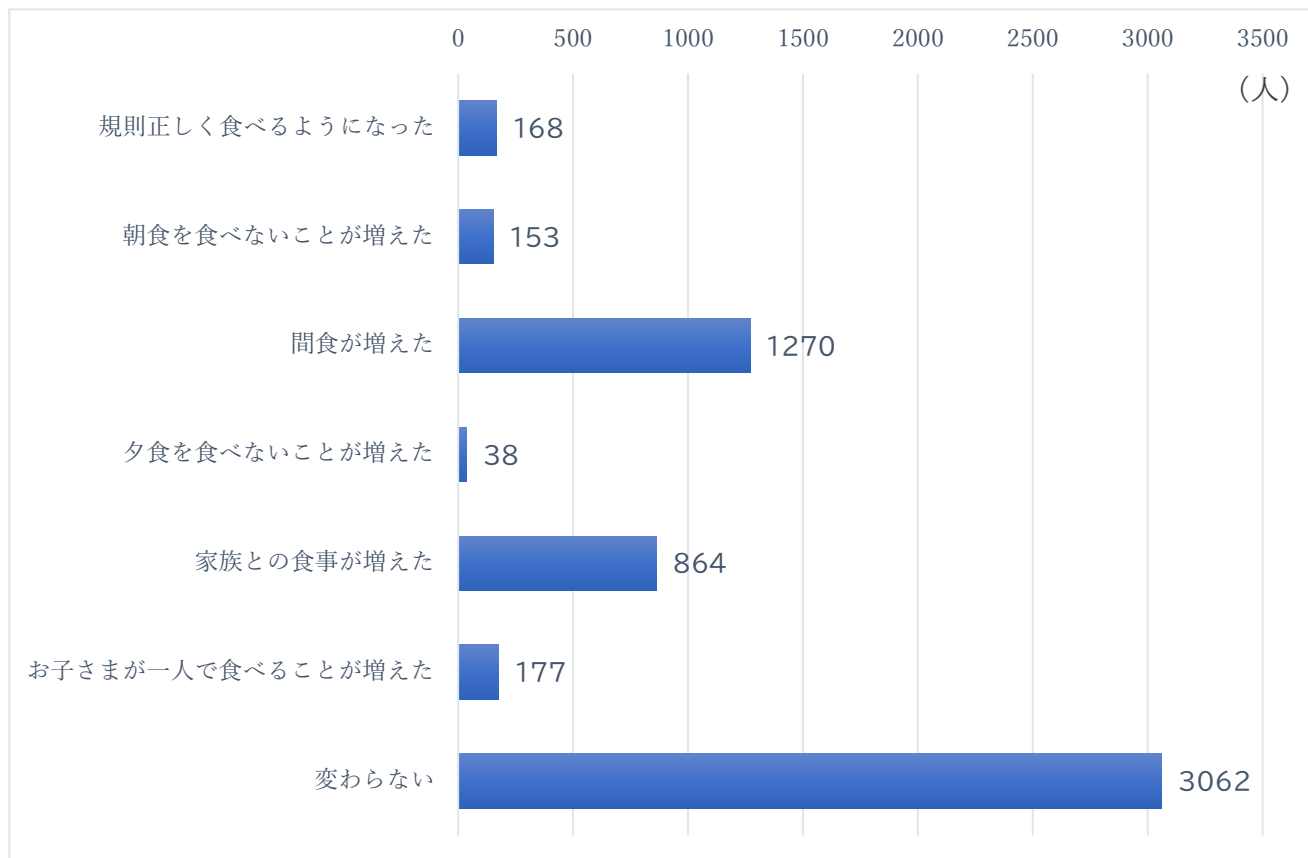


〔質問項目 4 - 3〕

感染症が拡大する前にくらべて、お子さまの食生活にはどのような変化がありましたか。

(複数回答可)

〔結 果〕



【考察】

衛生面の意識が向上したと回答した割合は、90.5%であった。新型コロナウイルスの感染拡大を受けて衛生面の意識が非常に高くなったことがわかる。

また、子どもの生活リズムが変化したかとの質問では、84.2%が変わらないと回答している。感染症の生活リズムへの影響は少ないことがわかる。

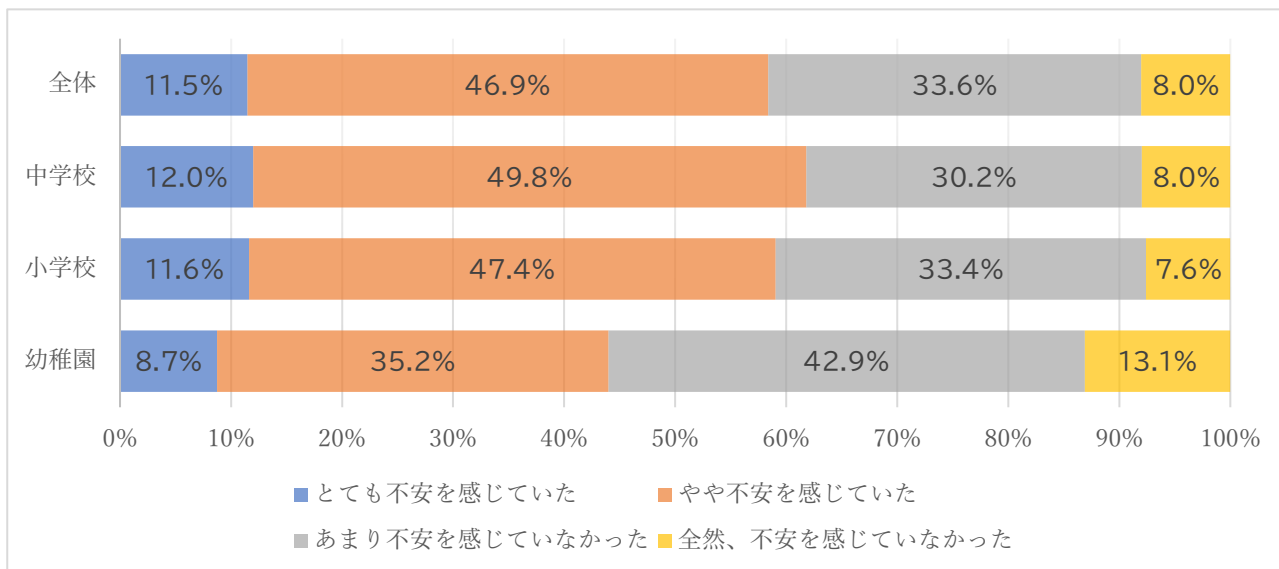
さらに、食生活がどのように変化したかの質問では、変わらないと回答した数が多いものの、「間食が増えた」「家族との食事が増えた」と回答した数が多い。家にいる時間が増えたことが、子どもの食生活を変化させていることがわかる。

(5) 子どもの心の変化に関すること

〔質問項目5-1〕

感染症が拡大して生活に制限がある中で、お子さまが不安を感じていると思ったことがありましたか。

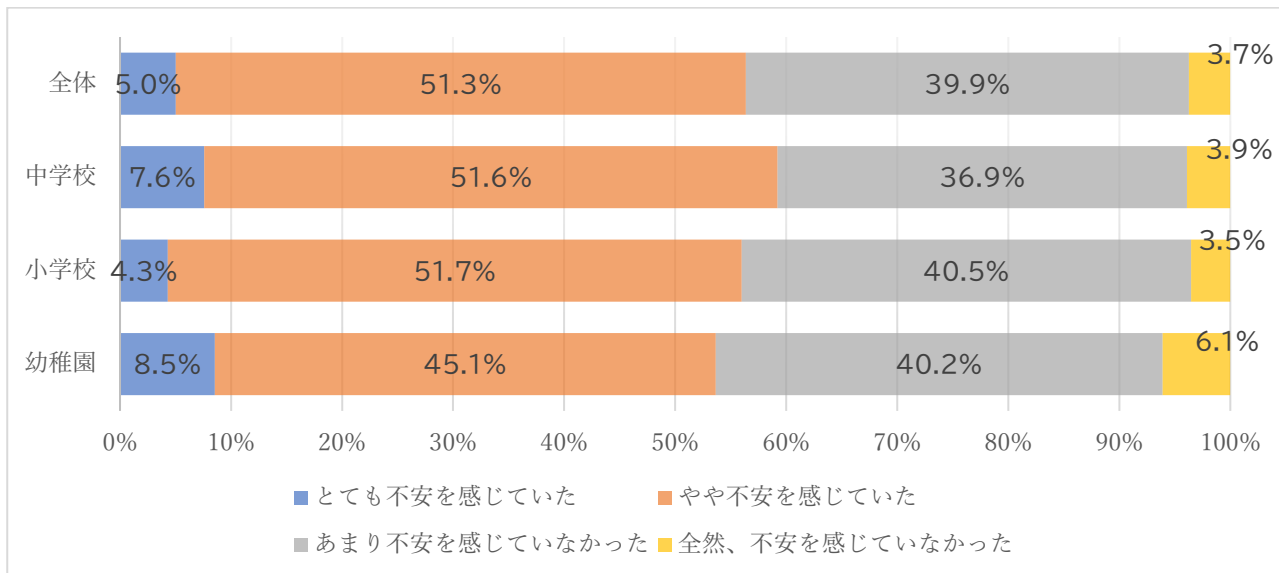
〔結果〕



〔質問項目5-2〕

上記の質問で「とても不安を感じていた」「やや不安を感じていた」と回答した方に伺います。現在もお子さまが不安を感じていると思うことがありますか。

〔結果〕



【考察】

感染が拡大して生活に制限がある中で不安を感じていたと回答した割合が、58.4%であった。中学校になるほど不安を感じていたと回答した割合は多く、中学生は61.8%であった。

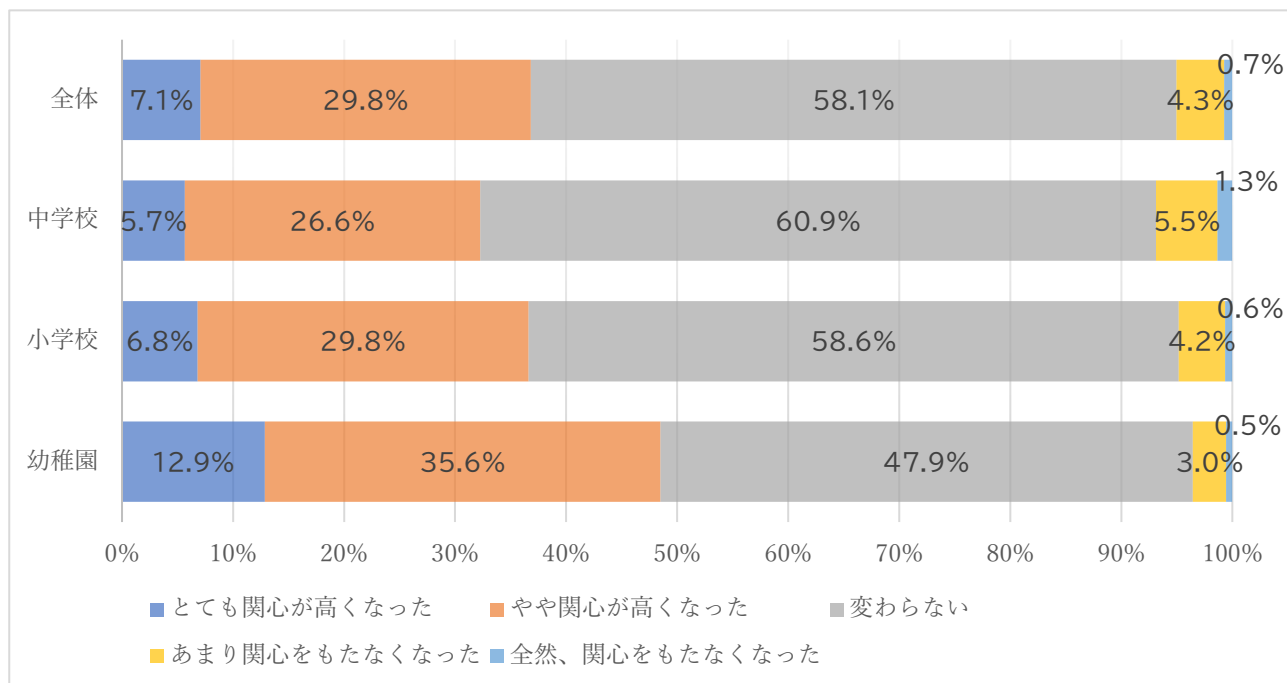
また、感染が拡大して生活に制限があった期間に不安を感じていた子どもたちのうち、現在も不安を感じている子どもは56.3%いることがわかる。中学生で59.2%が不安を感じており、幼稚園や小学校よりも多いことがわかる。

(6) 保護者に関すること

〔質問項目 6-1〕

感染症が拡大する前に比べて、保護者の方は、学校の教育活動に関心が高くなりましたか。

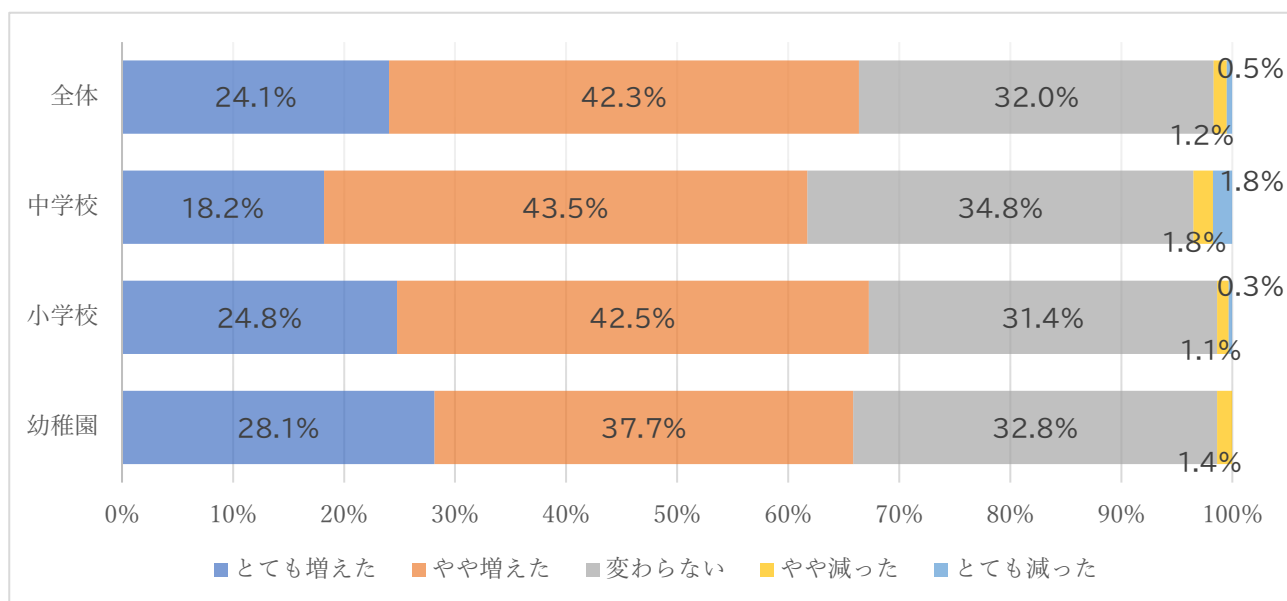
〔結 果〕



〔質問項目 6-2〕

感染症が拡大する前に比べて、保護者の方は、お子さまと過ごす時間に変化はありましたか。

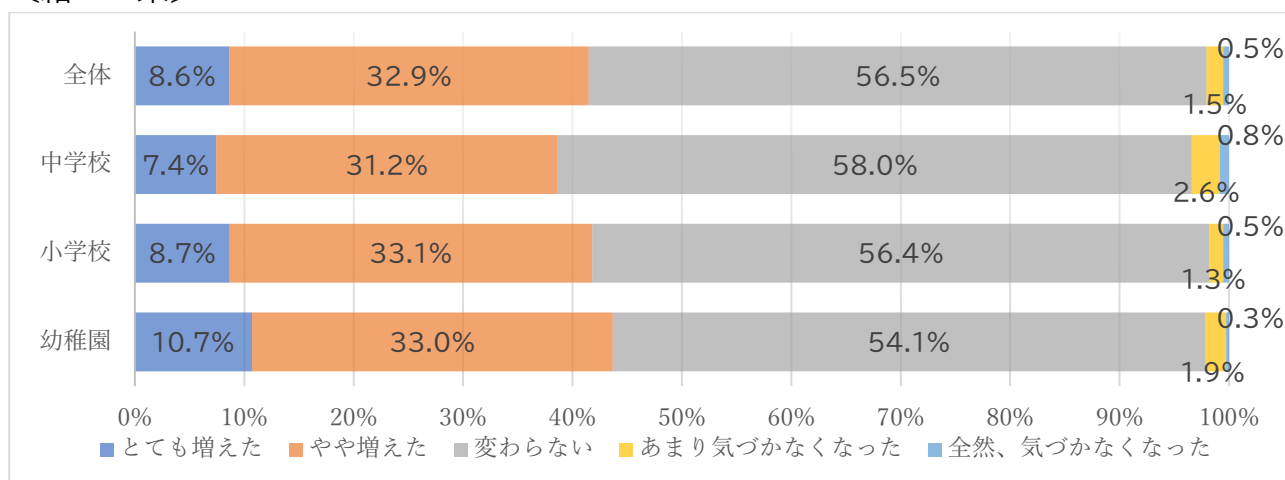
〔結 果〕



〔質問項目 6-3〕

感染症が拡大する前に比べて、保護者の方は、これまで気がつかなかったお子さまのよさに気づくことが増えましたか。

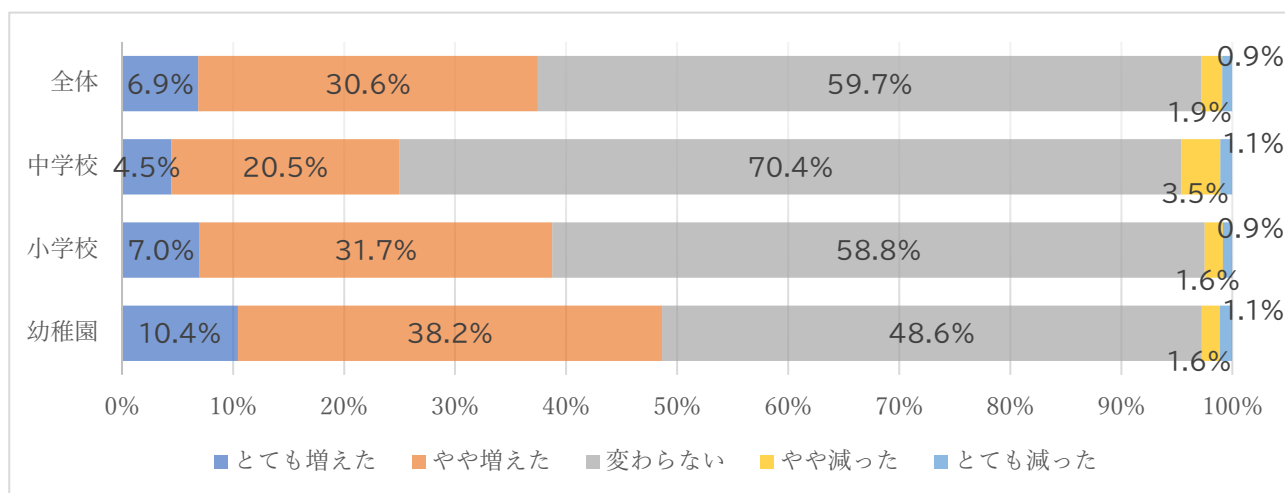
〔結果〕



〔質問項目 6-4〕

感染症にかかる不安やストレスから、保護者の方が、お子さんに対し厳しく接してしまうことが増えましたか。

〔結果〕



【考察】

学校の教育活動に関心が高くなったと回答した割合は、36.9%であった。そのうち幼稚園は48.5%であり、幼稚園の保護者ほど教育活動に関心が高くなったことがわかる。

また、子どもと過ごす時間が増えたと回答した割合は、66.4%であった。家にいる時間が増えたことで子どもと過ごす時間が増えていることがわかる。

次に、子どものよさに気づくことが増えたと回答した割合は、41.5%であった。子どもと過ごす時間が増え、子どものよさを見とることが増えたことがわかる。

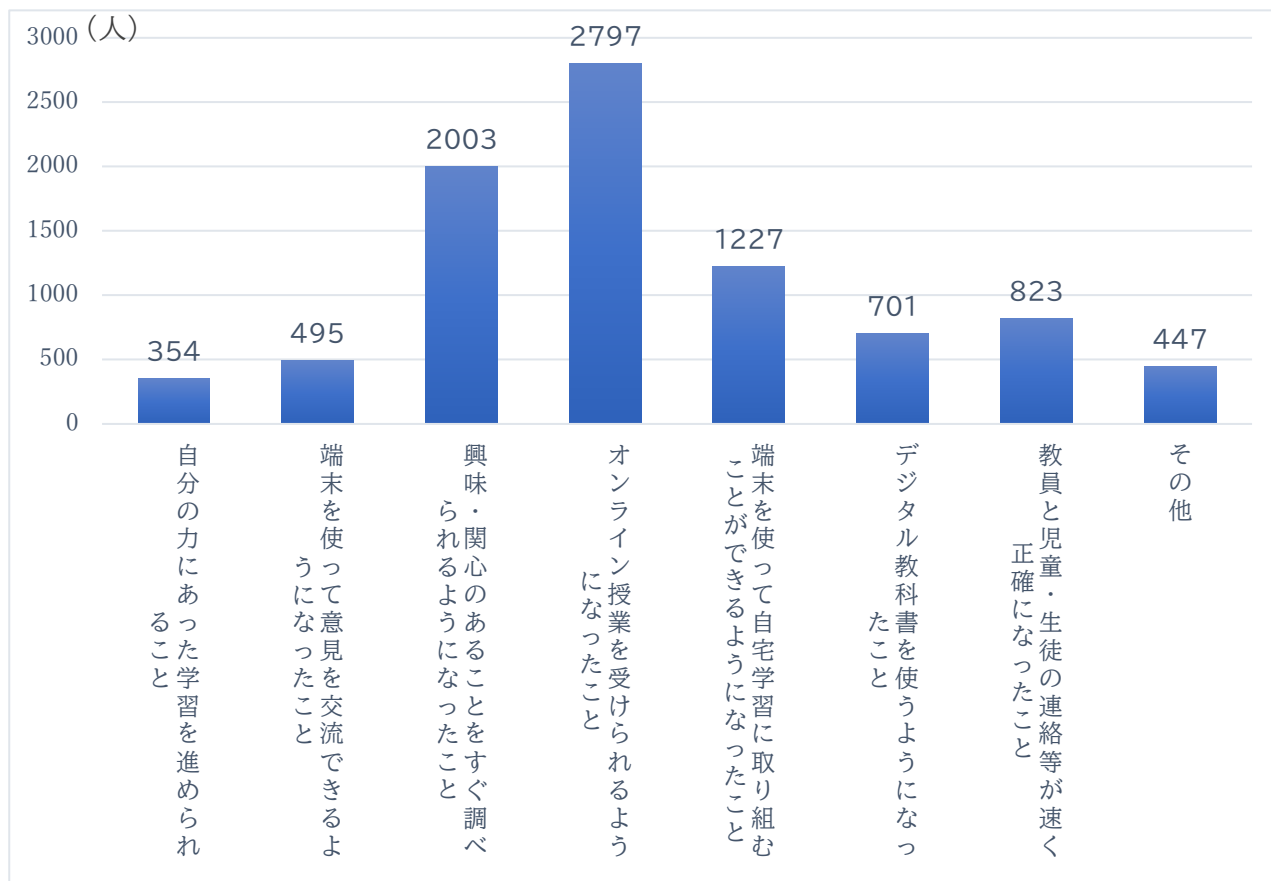
さらに、子どもに厳しく接してしまうことが増えたと回答した割合は、37.5%であった。そのうち幼稚園は48.6%であり、幼稚園の保護者ほど子どもに厳しく接してしまうことが増えたことがわかる。

(7) タブレット端末の活用に関すること

〔質問項目 7-1〕

タブレット端末が導入されて、子どもたちの学び方が変化する中で、良かったと思うことはどんなことですか。(複数回答可) ※小中学校児童・生徒の保護者のみ回答

〔結果〕



〔質問項目〕

「その他」を選択した方に伺います。タブレット端末が導入されて、子どもたちの学び方が変化する中で、良かったと思うことを御記入ください。

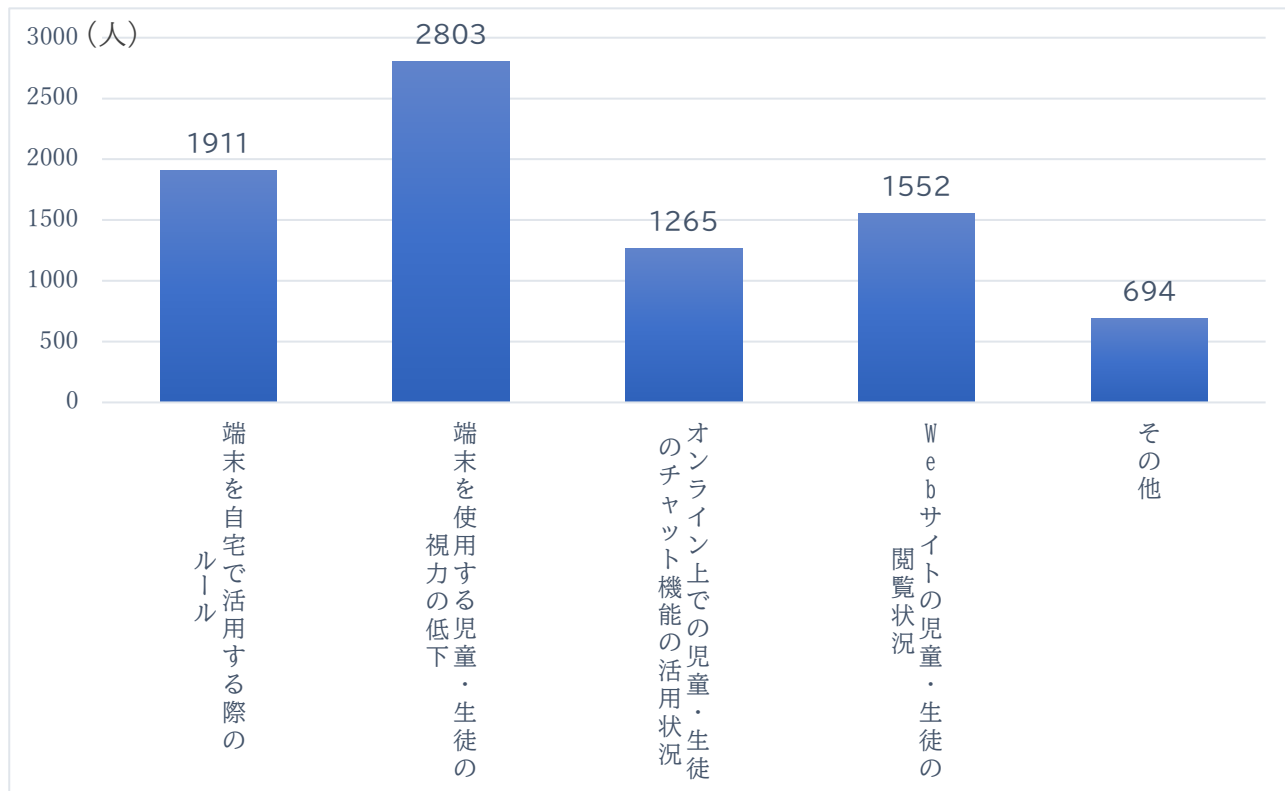
〔結果〕 ※主な回答のみ抜粋

- ・ デジタル環境で端末などを使うことに抵抗がなくなりました。
- ・ いざというときにオンライン授業ができるという安心感があります。
- ・ 共働き家庭でも保護者会に参加しやすくなりました。(オンライン保護者会)
- ・ 宿題がタブレットで課題として出るのがとてもわかりやすくて良いと思います。
- ・ 宿題や時間割のメモをするのを忘れてくることがなくなりました。
- ・ 現代社会を生きる上で必要な端末操作やタイピングができるようになりました。
- ・ 学び方の多様性が生まれました。
- ・ 調べたことをまとめ、表現する力が身に付いています。
- ・ 不登校になっても、授業を受けられる体制ができたことが安心につながっています。
- ・ プログラミングなどのスキルを身につけられることがよかったです。
- ・ 使い方を親に聞いてきて親子でコミュニケーションをとりながら学んでいます。
- ・ ITリテラシーを高めるきっかけになっています。

〔質問項目 7-2〕

タブレット端末が導入されて、子どもたちの学び方が変化する中で、気になっていることはどんなことですか。(複数回答可) ※小中学校児童・生徒の保護者のみ回答

〔結果〕



〔質問項目〕

「その他」を選択した方に伺います。タブレット端末が導入されて、子どもたちの学び方が変化する中で、気になっていることを御記入ください。

〔結果〕 ※主な回答のみ抜粋

- ・タブレット端末が重いため、毎日の持ち帰りが負担です。
- ・毎日自宅に持ち帰り使用するスタイルは小学生に必ずしも必要だと思わないです。
- ・教員のオンライン授業に対するスキル不足など、情報リテラシーが気になります。
- ・視力が低下しています。タブレット端末の使用時間が気になります。
- ・保護者が端末の利用に関する制限をできるようにしてほしいです。
- ・YouTube の閲覧に制限がかけられないことが気になります。
- ・規制が多すぎてあまり意味がないです。端末を使う事で学んでほしいです。
- ・デジタル教科書を全教科にしてほしいです。また、連絡帳を廃止し、出欠連絡もアプリから簡単にできるようにしてほしいです。
- ・家庭で何をどのようにフォローするのかわからないです。
- ・図鑑や辞書を使わず、タブレットで済まそうとするようになりました。
- ・文字を書く機会が減っているのが気になります。
- ・タブレット端末によるイジメなどの問題が起きないか心配しています。
- ・宿題や時間割の先生からの連絡が遅くて、困っています。

(8) 自由意見

〔質問項目 8-1〕

コロナ禍のお子さんの生活についてお気づきの点がございましたら御記入ください。

〔結果〕 ※主な回答のみ抜粋

【感染症対策について】

- ・子どもの安全を考えてマスクが本当に必要なのか疑問に思います。
- ・「どうして自宅ではマスクをつけないのか」と不思議に思っているようで、コロナ禍での生活が当然のように感じます。
- ・子供は慣れるのが早いので、大人が思っている以上に今の環境を楽しめているのではないかと思います。
- ・新型コロナウイルス感染症が、今は、減少していますが、また拡大して、小学校でクラスターが出ないか、とても心配です。
- ・学校はとてもきめ細かく対応して頂いていると感じています。制約が多い中で、なるべく多くのことを経験させてくださっていると思います。
- ・感染者が校内で出たのかくらいの情報は開示してほしい。濃厚接触者の方がいるのかどうかも気になります。
- ・基本的な手洗いも周辺に置いてあるアルコールで済ませてしまっています。

【学校行事について】

- ・学校行事が中止になり、学校生活で体験できないものの多さを感じています。
- ・公開日など、保護者を入替制で入校させているが、それは保護者の感染防止対策にはなるが、子供の感染防止対策になっていないと思います。
- ・保護者会などは、これからもオンラインで行ってほしいです。
- ・子ども達の行事が回避されることが多く、やり場のない怒りを感じています。
- ・保護者が学校に行く機会が減って、学校とのつながりが子どもだけになってしまっています。
- ・運動会、音楽会、遠足や様々な行事がなくなりました。自分の成長を保護者にも見せられず、子どもの心の傷は大きなものがあります。

【タブレット端末の活用について】

- ・オンライン授業の際は、最初は不安もありましたが結果内容も申し分なく、本当に助かりました。臨機応変に対応して頂きありがとうございました。
- ・iPad を毎日持ち帰るルールの変更をお願いしたいです。
- ・家で使わない時は学校に iPad を置いておいてほしいです。
- ・ハイブリッド授業は、オンラインの選択ができてよかったが、自分が登校していない間、友人関係のグループが変わっていたと話していました。

【その他】

- ・犠牲にする事も多かったですが、子どもとしっかり向き合えたのはよかったです。
- ・子どもが感染したときの隔離中は非常に精神的に不安定になっていました。
- ・コロナ感染者数のニュースを見て一喜一憂するようになり精神的に落ち着かない事が多かったです。また、習い事も中止になり活気が減っています。
- ・体を動かして遊ぶのが子どもには必要だと思います。